

OPPO、新たな AI 体験の提供へ AI 戦略の強化宣言

MWC2025「OPPO AI Tech Summit」

- Private Computing Cloud を最も早く導入したスマートフォンブランドの 1 つである OPPO は、Google Gemini とさらなる統合を進めており、まもなくユーザーは Gemini を使って、OPPO 製アプリケーションをシームレスに操作できるようになります。
- MWC2025 で、OPPO は新しい AI 機能である「AI 通話翻訳」や音声を要約する「AI VoiceScribe」を発表したほか、約 1 ヶ月ごとに新しい AI 機能のアップデートを発表することを約束しました。
- OPPO は、2025 年末までに生成 AI 機能を約 1 億人のユーザーに提供することを目指します。これは 2024 年の目標である 5,000 万人の 2 倍に当たります。

※AI サマリー（要約）・ライター（文章作成サポート）・スピーク（読み上げ）などテキスト系の AI 機能の日本語対応も、3 月末からいよいよ一部の OPPO スマートフォンおよびタブレットにて順次開始しております。日本のユーザーの皆さまにも、OPPO AI の性能を益々お楽しみ頂けます。

【2025 年 3 月 3 日 スペイン・バルセロナ】 — OPPO は、MWC2025「OPPO AI Tech Summit」において、安全で包括的な AI ソリューションを提供し、かつ継続的に進化させるなど、AI 分野をリードするための戦略を強化すると発表しました。



ビリー・チャン氏, *OPPO* 海外マーケティング・セールス・サービス責任者

「AI の分野では、ユーザーがどのような体験ができるのかが最も重要です」とビリー・チャン氏（*OPPO* 海外マーケティング・セールス・サービス責任者）は述べました。「スマートフォンは AI のための単なる道具ではなく、ベストな AI 体験を提供するエンジンとなります。スマートフォン業界の世界的なリーダーとして、*OPPO* は自社でのイノベーションと、業界パートナーとのオープンなコラボレーションを通じて、ユーザーにこれまでにない AI 体験を提供していきます。」

Google との協業で叶える システムレベルでの進化と安全な AI



マット・ウォルドバサー氏, *Google Cloud* グローバルソリューション・コンシューマーAI 担当マネー
—ジングディレクター

AI の応用範囲が広がる中、OPPO は、個別の機能としての AI から、システムレベルの AI へと進化させています。デバイス上での AI 機能がより統合したことで、セキュリティレベルを高めることが更に求められるようになりました。OPPO は、Google の AI 機能をスマートフォン全体で使えるようにし、OPPO の独自アプリ（例：ノート、カレンダー、時計）でも、Google Gemini が操作可能となりました。これらの新機能は、既存の Gemini 1.5 Pro や Gemini 1.5 Flash と連携し、OPPO AI スマートフォンでのこれまでにないパフォーマンスとレスポンスを実現します。両社は、最新の Gemini 2.0 が OPPO スマートフォンで使えるようにするための協力も行っています。

ユーザーのセキュリティとプライバシーを保護するために、OPPO は Google Cloud の Confidential Computing を活用した Private Computing Cloud (PCC) を採用しています。今年中には、AI 録音要約や AI Search、AI Studio、AI 通話要約などの AI 機能が「OPPO Private Computing Cloud」を通じて提供される見込みです。

「Google のテクノロジーと、OPPO の優れたハードウェアやソフトウェアを組み合わせ、OPPO と一緒にモバイル AI の未来を一緒に作っていただけることにワクワクしています」とマット・ワールドバサー氏（Google Cloud グローバルソリューション・コンシューマーAI 担当マネージングディレクター）は述べました。「アプリ、AI モデル、クラウドソリューションにかかわる幅広い協力関係を通じて、私たちはモバイルでの AI 体験を再定義し、より大きな可能性を引き出します。」

AI 関連研究開発に投資 AI のイノベーションを追求



ダレン・チェン氏, OPPO AI 技術戦略ディレクター

OPPO の最新の AI 開発戦略では、AI Productivity（AI による生産性向上）、AI Creativity（AI による創造性強化）、AI Imaging（AI による画像処理）の 3 分野にフォーカスし、ユーザーの日常生活で AI が必要不可欠な機能となることを目指しています。

更に OPPO は、これらの 3 分野の下に、チップ、デバイスからクラウドまでを網羅する包括的な AI 研究開発戦略を位置づけています。その一つとして OPPO は、MediaTek と協力し、エネルギー効率を損なうことなく、パワフルでかつ効率のよいリアルタイムでの AI 処理の実現を目指しています。MediaTek のウィル・チェン氏（MediaTek ワイヤレスビジネスグループ副ゼネラルマネージャー）は、「MediaTek と OPPO のパートナーシップは、AI 分野での新たなチャンスを開くものです。AI を活用した写真撮影から次世代のゲーム体験、高度なセキュリティソリューションからシームレスなデバイス接続まで、その可能性は無限に広がっています」と述べました。



ウィル・チェン氏（MediaTek ワイヤレスビジネスグループ副ゼネラルマネージャー）

また、LoRA（Low-Rank Adaptation）、並列デコード処理、MoE（Mixture of Experts）などの AI 技術が、OPPO デバイスにおける AI 機能の性能を大幅に向上させています。他にも OPPO は、デバイスとクラウド両方を網羅するデータセキュリティ保護システムを構築しています。

もっと多くのユーザーへ、より多くの機能を、より速く

Monthly Updates for Fresh AI Experience



Monthly update refers to having more than one update per month on average over a year. The actual update content may vary.

OPPO は、AI 機能に関するアップデートを約 1 か月ごとに発表する

AI の技術が進化し、その応用範囲もますます広がるなか、OPPO は、日常生活がもっと便利になる AI を実現するため、独自のアプローチを進化させています。昨年、5,000 万人の方に AI を使ってもらおうという目標を達成した OPPO は、2025 年末までに 2 倍にあたる 1 億人ユーザーに到達することを目指しています。

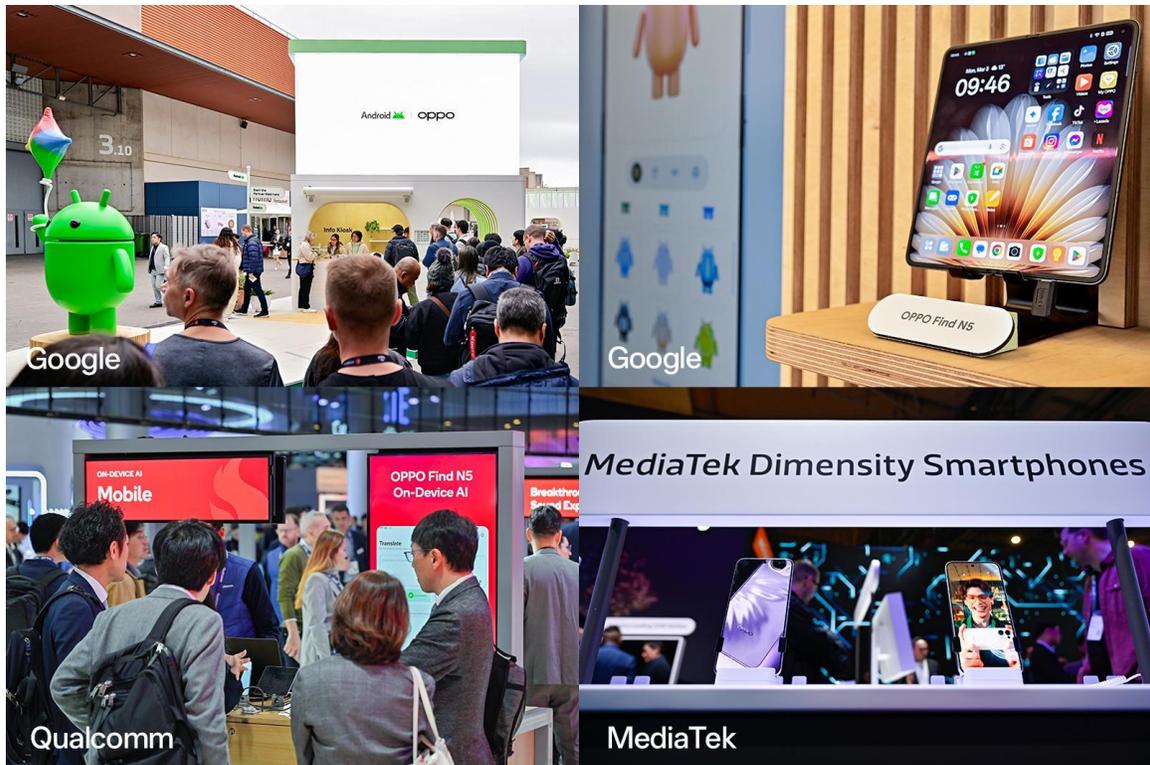
また、ユーザーのニーズに応えるため、OPPO は平均して月 1 度、AI の新機能や更新情報などのアップデートを発表します。AI Search のほか、OPPO アプリと Google Gemini の統合といった新たな AI 技術が、まもなく OPPO Find N5 に搭載されます。

さらに、リアルタイムで多言語の通話を翻訳する「AI 通話翻訳」、通話・オンライン学習・会議の音声のを要約する「AI VoiceScribe」が、今後のアップデートで OPPO デバイスに追加される予定です。



UCL のレジェンド、デビッド・ビジャ氏が OPPO AI Tech Summit に参加

スペインのサッカーレジェンド、デビッド・ビジャ氏もイベントに参加し、OPPO AI を直接体験しました。ビジャ氏は、OPPO AI を活用し、最先端かつ進化し続ける AI 機能によって、日常生活や仕事をさらに向上させる新たな可能性を探求していきます。



MWC2025で披露されたOPPO AIスマートフォンとAI機能

OPPO AIテクノロジーサミット以外でも、Find N5、Reno13シリーズ、Find X8シリーズを含むOPPOのAIスマートフォンやAI機能が、Google、MediaTek、Qualcommなどの主要パートナーのブースで紹介されました。

高度な技術開発から、ユーザー体験の向上、そして非常に強力なパートナー企業とのコラボレーションに至るまで、OPPOはAI体験におけるイノベーションをリードすることに全力を注いでいきます。